

2014年4月

国際学部を新設、2学部2学科に

2・3面

過去最多の75人が
5か国へ留学

4・5面

光云大学校(韓国)へ
初めての交換留学

5面

It's
New

CONTENTS

(2・3面)

新2学部の特徴紹介
開学20周年記念事業

(4・5面)

派遣留学・夏期セミナー壮行会
本場で語学を磨く意気込み披露

(6面)

盛り上がったスポーツ大会

「新入生歓迎会」で親睦深まる
教員の活動

(7面)

表彰奨学金・23人に授与
平成26年度入試日程概要一覧

湧源・編集後記に代えて

(8面)

スピーチコンテストで大活躍
北信越学生陸上で初優勝
オープンキャンパス案内

NUIS公式フェイスブック
https://www.facebook.com/nuis.face



NUISスクールアプリ開設しました
iPhone・iPad・Androidスマートフォン・タブレット向け
Apple StoreまたはGoogle Playストアから
新潟国際情報大学で検索
アプリをダウンロードしてご利用ください。



UX新潟テレビ21レクスタTV「ヌイスタ」
毎週金曜日12:30～13:00 国情生の発信番組
ストリーム生中継 過去番組も見られます。
http://uxt.tv.jp/info/lexstudio-tv/

新潟発の国際理解教育をさらに進化

国際 学部

〈国際学部 国際文化学科の
特色は〉

「国際学部」は、新潟では初めての誕生です。国際的に活躍できる人材を育成します。

これまでも、「情報文化学部 情報文化学科」のキャリアプログラムをさらに進化・発展させます。

新しい点は、主に3つあります。まず新たに「英語集中コース」を創ることで、英語教育の拡充を図ります。また、これまで「派遣留学制度」に加え、学生が求めるさまざまなタイプの留学にも対応できるように、単位認定制度を変更します。

留学先となる提携校も、従来のノースウェスト・ミズーリ州立大学（米）、極東連邦大学（露）、北京師範大学（中）、慶熙大学（韓）に加え、これからもどんどんと拡大して

本学は、国際化・情報化時代の本格化に対応できる人材育成を目指し、平成6年4月に1学部2学科で開学し、今年20周年を迎えました。その間、さまざまな教育研究活動を積み重ね、かつて「裏日本」とよばれた新潟の地から、東京を介せずとも世界に発信できる〈知〉と〈技術〉の育成に取り組んできました。しかし、近年のグローバル化、情報化のいっそうの進展、少子高齢化など急速な社会情勢の変化、さらには地域社会の自立要請の強まりなど、多様な人材ニーズに応えるため来

いく予定です。また、講義科目にも「社会企業論」や「グローバル・デモクラシー論」など、グローバル化時代を先取りする新しい国際系科目を追加します。

〈具体的に
どんなことを学べますか〉

これまでの全1年次から始まる「CEP」（コミュニケーション重視の英語プログラム）に

的な教育が受けられます。また英語だけでなく、ロシア語・中国語・ハンガールを4年間徹底的に学ぶこともできます。

さらに、本学部の最大の特徴の一つである「派遣留学制度」を利用すれば、4年間の在学中に半年の海外留学の経験を積み、夏休みや冬休みに独自に語学留学などを行った場合でも本学の単位が

数のゼミナールや、充実した国際系科目群など、個々人の夢や可能性を最大限に開花させる仕組みがたくさんあります。

〈どんな人材を育成しますか〉

グローバルかつ不確実な社会の中で、いかなる状況においても、自分の頭で考える強靱な知性と、他者と共に生きるしなやかな感性をもった人材を育成したいと思っています。

グローバルに思考、地域で活躍

英語集中コース設置、留学のチャンス拡大

加え、細かいレベル別クラスによる「英語基礎」を新たに開講します。そのため入学時にさまざまなレベルにある英語学習者が、卒業時にはまんべんなく高いレベルの英語運用能力を獲得できるよう、きめの細かい指導が受けられるようになります。

「英語集中コース」を選択すれば、英語を読み・書き・聞き・話すための以前にも増して体系

認められるようになります。ですから、国際学部に入學すれば、さまざまな海外留学のチャンスが増えると思います。

また、「国際交流インストラクター演習」を選択すれば、仲間たちと協力しながら独自の授業を創り、県内の小中高校で教壇に立ち、普段の学習の成果を地域に役立てることもできます。この他にも、1年次からの少人

春4月には「国際学部 国際文化学科」を新設し、現行の「情報文化学部 情報システム学科」と合わせて、2学部2学科へと改編いたします。

国際学部 国際文化学科では英語集中コースを設け、新潟の地から国際的に活躍できる人材を、情報文化学部 情報システム学科では、「情報コース」と「経営コース」の2コースを強化し、公務員養成にも力を入れて、新潟の地から情報社会の発展に貢献できる人材を育成していきます。



〈就職のほかに卒業後の進路は〉

各国の社会や文化、歴史について幅広く学び、アメリカ・ロシア・中国・韓国への留学などを通じて身に付けた外国語を生かし、卒業後は、観光業、商社、地元新聞やテレビ局などのジャーナリズム、公共サービス部門、国際機関や各種NGO/NPO職員として活躍できます。

〈高校生に向けて
メッセージをお願いします〉

国際学部には、みなさんの夢をかなえるためのきっかけがたくさん用意されています。高校までの「勉強」ではなく、「学問」の真の楽しさをぜひ一度味わってみてください。「自分はこんなもんだ」という思い込みは捨てて、新しい自分の可能性を発見するために、本学の扉をたたいていただければと思います。

（佐々木寛・学科長）

来年4月から新しく2学部2学科に



情報 文化学部

情報文化学部 情報システム学科の特色は

情報と経営がキーワードです。情報を使いこなすための知識と技術、高度な社会環境、人間活動に基づいた情報システムの機能と仕組みを修得します。社会に対する責任を果たし、情報化社会の発展に貢献できる能力が得られます。本学で身につけることのできる能力は次の通りです。

①国際的に活躍できる情報システム技術者を育成します。情報システムに関する高い専門知識と応用力に基づいて、主体的に行動し、新しい価値を創造できる能力が得られます。

②経営資源を有効に活用するために、企業や組織体の活動を科学的に調査・分析して、問題を発見し構造化して解決できる能力が得られます。

③人間や社会におけるさまざまな問題に対し、科学的・実証的な方法による調査・分析を行い、問題解決策を導くことができる能力が得られます。

④経営・起業できる人材、これらを支援できる人材、人間の特性および人間活動、社会環境の理解に基づいた、地域の問題解決を提案・支援・実現できる人材を育成します。

どんな資格を取れるようになりますか

①情報コースではJABEEによる修習技術者（国家資格の技術士1次試験免除）をはじめ、情報システム技術プログラム、ITパスポート、マイクrosoftオフィススペシャリスト(MOS)検定、基本情報技術者、応用情報技術者など。

②経営コースでは日商簿記検定、ITパスポート、MOS、ファイナンシャル・プランニング(FP) 技能検定などです。

高校生にメッセージをお願いします

情報を使いこなすエキスパートに 2コースで実践的な演習、システムも

どんなことが学べ、どんな人材を育成するのでしょうか

①情報コース—ソフトウェアを開発、ネットワークを構築、業務プロセスを分析、および情報を活用するためのスキルを身につけることができます。

②経営コース—企業を運営、自ら起業、経営を支援、および人間の特性や人間活動を理解し、地域や社会の問題を解決する能力を修得するために、経営と組織、マーケティング、管理会計、人間工学などを学びます。経営と組織、人間と社会の分野を主体的に学修することで、企業を

どのような企業に就職していますか

①情報コース—企業を運営、自ら起業、経営を支援、および人間の特性や人間活動を理解し、地域や社会の問題を解決する能力を修得するために、経営と組織、マーケティング、管理会計、人間工学などを学びます。経営と組織、人間と社会の分野を主体的に学修することで、企業を

②経営コース—企業を運営、自ら起業、経営を支援、および人間の特性や人間活動を理解し、地域や社会の問題を解決する能力を修得するために、経営と組織、マーケティング、管理会計、人間工学などを学びます。経営と組織、人間と社会の分野を主体的に学修することで、企業を

記念講座

「政治の再発見 —市民にとって良い政治とは」

- 9/28④「市民」の視点から
本学情報文化学部教授 越智 敏夫
- 10/ 5④「抵抗」の視点から
フランス文学者 海老坂 武氏
- 10/12④「価値」の視点から
評論家 呉 智英氏
- 10/19④「権力」の視点から
法政大学教授 杉田 敦氏
- 10/26④「実践」の視点から
本学学長 平山 征夫

会場 新潟国際情報大学
新潟中央キャンパス

開講時間 毎回 午後1時30分～午後3時

定員 100名(応募多数の場合は抽選)

受講料 3,000円

申し込み 往復はがき、またはメールに
郵便番号、住所、氏名、年令、
電話番号、
「政治の再発見」と明記のうえ、
〒951-8068
新潟市中央区上大川前通7-1169
新潟国際情報大学
エクステンションセンターまで
メールアドレス
exten@nuis.ac.jp
締り切り 平成25年9月10日(火)必着

シンポジウム

詳細は、決まり次第ホームページおよび次号でご案内申し上げます

- 11/2④「新潟の国際と情報について」
芸術家 会田 誠氏
文芸評論家 斎藤 美奈子氏
ドキュメンタリー作家 森 達也氏

- 11/3④「21世紀東アジアの〈共生〉の条件
—グローバル格差社会を考える道」

「新潟における経営革新の実践を
考える—人間中心の情報と経営の実践—」

学生支援・施設の拡充

奨学制度の拡充、学生企画プロジェクトの支援、ベンチャー支援、学生会館、学生食堂、語学学習センター(仮)

その他

ホームカミング(卒業生)、スピーチコンテスト、学生イベント

開学20周年記念事業



派遣留学 中国 北京師範大学



派遣留学 ロシア 極東連邦大学



派遣留学 アメリカ ノースウエスト・ミズーリ州立大学

過去最多の75人が5カ国へ

壮行パーティー 語学を磨く意気込みを披露

派遣留学（情報文化学科）と海外夏期セミナー（情報システム学科）に間もなく出発する学生たちの壮行パーティーが、6月19日に本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。今年度はアメリカへ27人、ロシアへ5人、中国へ10人、韓国へ10人、カナダに23人という過去最多となる合計75人が異文化に飛び込んで学んできます。

壮行パーティーでは、平山征夫学長が恒例の奨学金証書を贈り、各コースの代表が本場の語学を学ぶ意気込みを披露しました。出発前に一堂に会した学生と関係教職員が和やかにテーブルを囲み、留学の期待と不安などを率直に語り合いお互いに激励しました。

参加した学生たちの意気込みを紹介します。

アメリカコース

成長は自分次第

村山 正佳（情報文化学科2年）
アメリカの文化についてさまざまなことを学び、外国の方と交流すること、自分の語学力や会話力に磨きをかけることを目標にしています。どれだけ成長できるかは自分次第なので、積極的にいるいろいろな経験をしたいです。

楽しい半年に

山崎 祥基（情報文化学科2年）
半年という短い期間ですが、自分を一回り成長させるために勉学に励み、積極的にさまざまな経験を積み、楽しい留学にしたいです！

責任と自信を持ち

小林 優衣（情報文化学科2年）
今は不安に押しつぶされそうですが、自分で決めたことに責任と自信を持ち、両親に感謝の気持ち忘れずに必ず「行って良かった！」と思える留学生生活を送ってきます。

自分を変える

渡邊 柊子（情報文化学科2年）
日本を出て外から日本を見ると、いろいろなものが見えてくると思っています。自分を変えてき



アメリカ



ロシア

ます！

異文化に触れ

内藤 瑞穂（情報文化学科2年）
語学力の向上はもちろん、多くの人々と交流し、異文化に触れたいです。日本では経験できないことを経験し、アメリカから見た日本を知りたいです。

さまざまな出会い

中山 大輔（情報文化学科2年）
語学のほか、異文化理解のために、さまざまな人々に会って

みたいです。

「結果」を残す

菅原 涼太（情報文化学科2年）
アメリカに行つて良かったと思える「結果」を必ず残してみせます！

価値観を広げる

福島 士朗（情報文化学科2年）
さまざまな国の人々と触れ合うことで、自分の価値観などを広げていきたいです。語学力向上のために、なるべく英語を使うことを意識します。

精神的にも成長

山崎 莉那（情報文化学科2年）
今はまだ不安の方が大きいですが

ロシアコース

自分に自信を

川崎 美雪（情報文化学科2年）
留学期間中は後悔しない日々を送ります。帰ってきた時に自分に自信が持てるようになりたいです。

日々を大切に吸収

後藤 匠（情報文化学科2年）
胸を張って「自分は一回りも二回りも成長することができた」と言えるように、自分を変えようという気持ちと積極性を忘れずに行動したいです。半年という短い期間ですが、見たもの聞いたもの感じたもの全てを吸収するつもりで、1日1日を大切に精いっぱい過ごしていきます。

中国コース

多くの友をつくる

五十嵐 瑞稀（情報文化学科2年）
勉強はもちろんですが、いろいろなところへ行き、たくさんの人と交流して1人でも多くの友人をつくりたいです。

海外留学・夏期セミナー参加学生の累計

	アメリカ	ロシア	中国	韓国	カナダ	計
平成 7年度	13	7	29	14		63
平成 8年度	17	20	15	13		65
平成 9年度			31			31
平成 10年度	14	7				21
以上 海外研修計	44	34	75	27		180人
平成12年度			30		20	50
平成13年度	17	6	15	12	14	64
平成14年度	13	3	17	9	17	59
平成15年度	11	1	〈中止〉	4	6	22
平成16年度	13	2	31	7	8	61
平成17年度	12	5	18	13	22	70
平成18年度	7	0	9	5	3	24
平成19年度	25	12	16	10	9	72
平成20年度	12	9	9	7	13	50
平成21年度	13	11	6	4	12	46
平成22年度	16	7	10	11	9	53
平成23年度	13	7	18	13	4	55
平成24年度	14	7	13	7	12	53
平成25年度	27	5	10	10	23	75
計	193	75	202	112	172	754
合 計	237	109	277	139	172	934

国名／留学大学	留学期間	参加人数
カナダ アルバータ大学生涯教育学部	平成25年8月6日～9月8日	情報システム学科 2・3年次 23人
ロシア 極東連邦大学	平成25年8月10日～12月14日	情報文化学科 2年次 5人
アメリカ ノースウエスト・ミズーリ州立大学 教養学部	平成25年8月20日～12月15日	情報文化学科 2年次 27人
韓国 慶熙大学校国際教育院	平成25年8月30日～12月27日	情報文化学科 2年次 10人
中国 北京師範大学	平成25年9月9日～平成26年1月20日	情報文化学科 2年次 10人
参加学生数合計		75人

平成25年度のスケジュール表（出発順）



交換留学 韓国 光云大学校



夏期セミナー カナダ アルバータ州立大学



派遣留学 韓国 慶熙大学校



右から3番目

語学力に磨き
神田 張健 (情報文化学科2年)
語学力に磨きをかけ、さらに成長した自分になります!!
文化、生活を体感
小松 千鶴 (情報文化学科2年)
中国語や文化、歴史を大学の授業で学ぶだけでなく、中国人や他の外国人と中国語で会話をするなどの実践や、文化や生活様式を体感したいです。
食と友人づくり
早坂 知良 (情報文化学科2年)
とにかく友人をつくることと、今まで食べたことのないものを食べる。この2つは絶対に達成したいです。
自分の殻を破る
洪川 奈那子 (情報文化学科2年)
留学先で自分がどれだけ一生懸命勉強できるか、何事にも積極的に取り組むことができるかが大切だと感じたので、しっかりと目標を持って頑張りたいと思います。自分の殻を破り、一回り成長して帰ってきたいです。

後悔の無いよう
神保 真凜 (情報文化学科2年)
精いっぱい韓国語を学んで、伝統文化から日常生活まで知り、
その中に身を置いて
本間 安沙子 (情報文化学科2年)
韓国に行かなければ体験できないことをたくさんして、直接、韓国の生活や文化に触れ、その中に身を置くことで、自分自身を成長させたいです。苦労したり悩んだりすることもあると思



中国



韓国



カナダ

いますが、留学できることに喜びを感じ、楽しみたいです。
日本人に好感を
石塚 太郎 (情報文化学科2年)
日本人として恥ずかしいことのないように、むしろたくさんの人に日本に好感を持ってもらえるよう過ごしたいです。
笑顔で帰国を
高桑 伽奈 (情報文化学科2年)
留学先では勉強はもちろん、たくさん遊んで友達もたくさん

つくりたいです。コミュニケーションはとても大切なので、いろいろなことを吸収して、後悔のない有意義な生活を送り、笑顔で帰国したいです!
何事もチャレンジ
瀧川 未来 (情報文化学科2年)
慣れない外国での生活なので、時には悩んだりつらかったりすることがあると思います。が、何事にも積極的にチャレンジして仲間たちと助け合いながら

韓国留学が初体験ではないとはいえ、新潟国際情報大学と光云大学校との交換留学というのは前例がないので、何に關しても手探り状態でした。
光云大には日本人留学生が5人しかいないので心細かったですが、そのおかげで韓国語を話す機会が増えて、また本学と光云大の事務の方や先生方に助け

ていただき、無事に留学生生活を終えることができました。とても感謝しています。
日本に関心がある学生の方たちや、教授の方たちも歓迎してくださいました。最初はとにかく不安な気持ちから勉強していたのですが、そんな私を先生方が気にかけてくださり、私も先生方に応えよう

として向上心が生まれて、マインナスだった気持ちがプラスに変わりました。
派遣留学のときとは違い、韓国の学生に囲まれて受ける授業や、韓国語で何千字も書くレポートなど、最初は正直つらかったですが、貴重な体験だったと、今は満足しています。

初めての交換留学、貴重な体験に満足

情報文化学科3年 山本 麻佑子 向上心が生まれプラス思考に

ら、大きく成長した姿で帰ってきたいです。
カナダコース
自分自身のために
井浦 佳代 (情報システム学科2年)
自分自身のため、しっかりと知識を身につけてきます。
その国の常識で
中川 亮 (情報システム学科2年)
カナダでは日本にいる時のままの日本文化の常識でいるのではなく、カナダの文化を理解して、カナダの文化の常識で暮らせるようになってきたいです。また、さまざまなことを学ぶと同時に、カナダでしかできないことを楽しみたいです。
内気でない自分発見
樋口 祐樹 (情報システム学科2年)
目標は英会話力の向上と異文化交流による、今までの内気な自分とは違う自分の発見です。海外に行ける機会はないかなかなしいので、悔いが残らないように楽しみたいです。
TOEICに挑戦
大沼 牙希 (情報システム学科2年)
カナダへ行く前に基礎知識を身につけ、向こうでどのくらい自分の能力が通用するのかを知りたいです。そして、カナダで応用力を身につけ、TOEICに挑戦するのが目標!自分自身の成長させることも目標にしています。
750点以上取ります!
曾我 絵美花 (情報システム学科2年)
帰ってきたら、TOEIC750点以上取ります!!しっかりと気持ちで勉強します。頑張ります!
本場の英語を聞き話す
片山 雅春 (情報システム学科3年)
カナダに行くと本場の英語を耳にし、勉強し、英語を話せるようになる第一歩にしたいです。また、この留学で、自分が少しでも成長できるようにしたいです。

学生や教職員との交流を図る、恒例のスポーツ大会を5月18日に開催しました。今年度も晴天に恵まれ、無事にイベントを終えることができました。

昨年度末に実施したアンケートをもとに、前回に引き続き人気があったバドミントンを中心に、今年度は9種目を実施しました。新競技としてストラックアウトを実施しました。

また、今年度は景品にも工夫を加え、参加賞の

新しい競技と景品に気配り 盛り上がったスポーツ大会



ジュウスの種類を増やしたり、景品をゼリーから

大会実行委員長 情報システム学科2年 寶輪 新菜

アイスに替えたりしました。当日は気温も高かったため、アイスもジュースも大人気でした。バドミントンでは、職員の皆さんも参加されました。また、1年生が基礎演習ごとに参加する種目を大縄跳びからドッチボールに替え、こちらも大変盛り上がりしました。土曜日にもかかわらず有志の方々もたくさん参加され、アリーナでの競技は他の競技に比べて特に盛り上がりを見せていたと感じました。

さあ楽しもう！キャンパスライフ

「新入生歓迎会」親睦を深めて激励

入学したばかりの学生同士の交流と教職員との親睦を深める、新入生歓迎会が市内の新潟東映ホテルで4月3日に開催されました。

新学期のメーン行事で、学修と課外活動への意欲を高めるのが目的です。学生生活のスタートに当たり授業欠席や休学および退学者を抑止減少させるメリ

ットになっています。新入生312人のうち大半の298人が参加して、期待以上に大いに盛り上がりました。

まずは平山征夫学長はじめ越智敏夫学部長、槻木公一学生部長らが親しく挨拶して新入生を元氣付けました。アトラクションでは本学有志による団体「能ボランティア」が

能の舞を披露。またダンス部などによる楽しいパフォーマンスも繰り広げられました。打ち解けた新入生たちは教職員や先輩学生に囲まれ、テーブルを囲んで一緒に食事を楽しみながら始まったばかりの、みずき野キャンパス生活に胸躍らせていました。

参加者からは「新しい友達が早速できた」「親睦を深めることができて良かった」などの声が多く寄せられてリラックスした表情で



教員の活動（本人申告による）

1) 研究論文・図書

白井 陽一郎(情報文化学科・教授)

- ・(2013年4月)「環境のE.U.、規範の政治」ナカニシヤ出版(全300頁)
- ・(2013年4月)松尾秀哉・白井陽一郎編「紛争と和解の政治学」ナカニシヤ出版(全300頁)

小山田 紀子(情報文化学科・教授)

- ・(2012年)「The 1873 Warner Law and the Formation of Private Landownership in Algeria: The Transfer of Landownership from Indigenous Peoples to European Settlers」, The Journal of Sophia Asian Studies 30 (15-40頁)

神長 英輔(情報文化学科・准教授)

- ・(2013年)「樺太の『ロシア人』—異郷に生きた人々のつなかりと助け合い」中嶋毅編著「新史料で読むロシア史」山川出版社(146-163頁)

白井 健二(情報システム学科・教授)

- ・(2013年)「Mathematical Model of Thermal Reaction Process for External Heating Equipment in the Manufacture of Semiconductors (Part 1)」, International Journal of Innovative Computing, Information and Control 9(4) (1557-1571頁)
- ・(2013年)「Mathematical Model of Thermal Reaction Process for External Heating Equipment in the Manufacture of Semiconductors (Part 2)」, International Journal of Innovative Computing, Information and Control 9(5) (1889-1898頁)

中田 豊久(情報システム学科・講師)

- ・(2013年4月)「基礎から学ぶデータマイニング」コロナ社(全151頁)

2) 学会・研究会・講演等

伊村 知子(情報システム学科・講師)

- ・(2013年3月23日)「チンパンジーとヒトの視覚認知—比較認知発達のアプローチから」新潟心理学会(新潟大学)

越智 敏夫(情報文化学科・教授)

- ・(2013年4月13日)「Apocalyptic Memories and Subjective Movements: Differentiation by Political Power」, Crisis of the Everyday/Everyday Crisis: Across Time in Japan, University of North Carolina at Chapel Hill, USA

小山田 紀子(情報文化学科・教授)

- ・(2013年5月10日)「アルジェリアという国—フランス植民地支配からマグリブの独立国家へ—」歴史文化交流フォーラム第99回講演会(東京)

小林 満男(情報システム学科・教授)

- ・(2013年4月27日)「情報システムの授業を面白くする！～ディスコース戦略的事例紹介」経営情報学会組織ディスコース研究部会(明治大学)

佐々木 寛(情報文化学科・教授)

- ・(2013年5月18日)「『危機』とフレーミング・ポリティクス——「3・11」福島第一原子力発電所事故後の日本における言説政治」日本政治学会「年報政治学」研究会(関西大学)
- ・(2013年5月26日)「核テクノロジーと政治思想——『文明論』としての政治理論へ」政治思想学会研究大会(慶應義塾大学)
- ・(2013年4月15日)講演「『中国脅威論』を考える」新潟県立大学榎谷圭司教授研究会(新潟市)
- ・(2013年4月17日)講演「朝鮮学校の補助金停止に抗議する！市民のつどい」(新潟市)
- ・(2013年5月3日)「ドーシよば！？けんぼう」コーディネーター(新潟市)
- ・(2013年5月29日)講演「ファシリテーションは世界を変える」(本学新潟中央キャンパス)
- ・(2013年6月1日)講演「これからの『憲法政治』と市民の役割——参院選をひかえて」(長岡市)
- ・(2013年6月3日)「『核の時代』とはいかなる時代か——ヒロシマからフクシマまで」にいがた市民大学(新潟市)

中田 豊久(情報システム学科・講師)

- ・(2013年6月5日)「写経プログラミングの学習効果に関する考察」2013年度人工知能学会全国大会(富山市)
- ・(2013年6月5日)高野泰長他「非言語コミュニケーションにおける母国語の影響」2013年度人工知能学会全国大会(富山市)

3) 競争的資金獲得研究

伊村 知子(情報システム学科・講師)

- ・(継続～2014年3月)研究課題「霊長類における視覚情報の時間的統合過程に関する比較認知発達の検討」科学研究費補助金 若手研究(B)(代表)

4) 委員・社会的活動・記事・その他

越智 敏夫(情報文化学科・教授)

- ・(2013年3月30日、4月27日、5月25日)連載「オピニオン」『新潟日報』
- ・(毎週木曜日)FMポート「モーニング・ゲート」時事解説

小山田 紀子(情報文化学科・教授)

- ・(2013年2月3日)「ニュースの本棚—アルジェリア事件」『朝日新聞』

佐々木 寛(情報文化学科・教授)

- ・(2013年5月3日)インタビュー「安全保障こそ真の争点」『新潟日報』

近山 英輔(情報システム学科・准教授)

- ・(2013年4月～)(独)理化学研究所環境資源科学センター客員研究員、(独)理化学研究所量子工学研究領域客員研究員

中田 豊久(情報システム学科・講師)

- ・(2013年6月5日)2013年度人工知能学会全国大会インタラクティブセッション学生奨励賞(中田研究室高野泰長氏)

学業優秀、東北支援の活動たたえて



日頃の研鑽をたたえ、いつもの励みとなるよう、本学の表彰奨学金の授与式が6月19日に行われ、平山学長から23人に証書と奨学金が贈られました。

今年度の表彰学生は、学業成績優秀者（前年度の修得科目の成績が各学年・学科において優秀であった者）が17人（情報文化学科7人、情報システム学科10人）で各30万円、また課外活動で顕著な成績を挙げた功労者6人に10万円が授与されました。

課外活動は、ボランティア団体を結成して、東北の被災地で支援活動を行った学生や、外国語スピーチコンテストに優勝や、スポーツ大会で上位入賞した活躍をたたえました。

学長はしっかりとした目的意識を持った日頃の努力をたたえ、表彰された学生たちは、いっそうの活躍を誓っていました。

表彰奨学金23人に授与

平成26年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

※詳細は本学学生募集要項でご確認ください。※出願期間内消印有効。

入 試 区 分		募 集 人 員		出 願 期 間		試 験 日		試験地		試 験 実 施 教 科 ・ 科 目		合格発表日	入学手続期間	
推薦入学試験	高校長推薦	指定校制	情報文化学部 情報システム学科	35	25年11月 1日(金) 11月11日(月)	25年 11月17日(日)	新潟		本学が指定校と定めた高校長宛てに推薦依頼を行います。	25年 11月21日(木)	25年11月21日(木) 12月 6日(金)			
			国際学部 国際文化学科	30										
		公募制 (教科成績重視型)	情報文化学部 情報システム学科	25								面接・小論文 推薦要件：全体の評定平均値3.8以上または、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語(英語)のうち、いずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること。		
			国際学部 国際文化学科	10									面接・小論文 推薦要件：本学が定めた資格・検定に合格、あるいは成績を修め、かつ全体の評定平均値が3.5以上であること。 ※対象資格・検定は、学生募集要項で確認してください。	
		公募制 (資格・検定重視型)	情報文化学部 情報システム学科	若干名										国際学部 国際文化学科
			国際学部 国際文化学科											
II期	公募制 (教科成績重視型)	情報文化学部 情報システム学科	5	25年12月 3日(火) 12月16日(月)	25年 12月21日(土)	新潟	I期・公募制(教科成績重視型)と同様。	25年 12月26日(木)	25年12月26日(木) 26年 1月10日(金)					
	公募制 (資格・検定重視型)	国際学部 国際文化学科	5			I期・公募制(資格・検定重視型)と同様。								
帰国生入学試験		情報文化学部 情報システム学科 国際学部 国際文化学科	若干名	25年11月 1日(金) 11月11日(月)	25年 11月17日(日)	新潟	面接・小論文	25年 11月21日(木)	25年11月21日(木) 12月 6日(金)					
社会人入学試験		情報文化学部 情報システム学科 国際学部 国際文化学科	若干名				面接・小論文							
一般入学試験	前期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科	65	26年 1月 6日(月) 1月24日(金)	26年 2月 2日(日)	新潟 上越 長岡 新発田	・国 語：国語総合(現代文)・現代文 ・数 学：数学I・数学A ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用)。	26年 2月 7日(金)	26年 2月 7日(金) 2月19日(木)					
		国際学部 国際文化学科	35											
	大学入試センター試験利用	情報文化学部 情報システム学科	10	26年 1月28日(火) 2月13日(木)	26年1月18日(土)、 19日(日)の大学入試センター試験を受験していること	学科試験を課さず、平成26年度の大学入試センター試験の成績で判定。各学部の利用教科・科目の中から2科目選択。 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む)。 ※各学部の利用教科・科目は、学生募集要項で確認してください。	26年 2月22日(土)	26年 2月24日(月) 3月 5日(木)						
		国際学部 国際文化学科	10											
	後期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科	10	26年 2月14日(金) 2月28日(金)	26年 3月 9日(日)	新潟	・国 語：国語総合(現代文)・現代文 ・数 学：数学I・数学A ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用)。	26年 3月12日(木)	26年 3月12日(木) 3月20日(木)					
		国際学部 国際文化学科	10											

入学時の奨学金 高校長推薦 入学試験合格者 合格後に希望者に対し2月2日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。

一般入学試験(前期)受験者 一般入学試験(前期)の試験結果から、上位成績者に年間授業料の半額を給付します。

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。 TEL025-239-3111 FAX025-239-3690 E-mail nyushiweb@nuis.ac.jp

湧源

入試広報委員 内田 亨
編集後記に代えて

海外での留学は、後の人生に大きな影響を与えると思う。私の留学体験を3つほど紹介したい。

まず、リヨン(仏)への留学時である。授業の教員の話は意外と理解できる。それは演説のようで、間を取り、説得しながら話すので、分かりやすい。一方、クラスメート(半分はフランス人、残りは欧州人が多い)とのディスカッションには全くついていけない。それは「言ったものの勝ち」であり、自分の主張を通すのが主流である。おのずとみんな早口になり、威圧的にさえる。こうした感覚は、日本では馴染みがなく、グローバルでの議論を目の当たりにした感があつた。ディスカッションでは、まず自分から主張しないと、後で一言も言えず後悔することを悟った。

次に、ブリュッセルでの留学では、残念ながらベルギー人の友人はできなかったものの、フランス人やメキシコ人の親友ができた。ブリュッセルの11月から3月の曇天には、誰もが心が落ち込む。そんな時、ラテン系のフランス人やメキシコ人と遊びに行くことは、心を晴らしてくれる。持つべきものは「友」であり、留学後、10年以上経ても彼らの家に遊びに行く仲である。

最後に、留学では、危険な目に遭遇することもある。ブリュッセルのスーパーの駐車場に駐車しようとした時、隣に駐車してきた運転手から「マリファナ買わないか」と言われたこともあった。こうした場合、断固として「No」と言って、逃げるが勝ちである。

他にも、紙面では書ききれないほどさまざまなエピソードがある。それらが留学の面白さであり、苦勞して得たことは、後の人生に大きな影響を与えることになる。

オープンキャンパス

高校生はじめどなたでもご参加できます!

- 学科およびカリキュラム説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義

- コンピュータ実習
- 語学体験
- 個別入試相談
- 就職相談

- 海外留学相談
- 学生との懇談
- 学内見学
- 保護者向けプログラム

会場 新潟国際情報大学 本校

新潟市西区みずき野3-1-1
(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)参加お申込み 高校の進路指導の先生、もしくは下記まで
お申込みください。
※時間変更となる場合もありますので事前にご確認ください。*7・8月無料送迎バス運行。
詳細はホームページをご覧ください。1
回目
7/21日
AM 10:30~PM 3:302
回目
8/4日
AM 10:30~PM 3:303
回目
9/8日
AM 10:30~PM 2:00

お問い合わせ先 新潟国際情報大学 入試・広報課 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL025-239-3111 FAX025-239-3690 E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

ロシア語

情報文化学科3年

荒木

円花

ロシア語の原稿を作るのは初めての経験で毎日、紙辞書を引き、書いては先生に何度も添削をお願いし、完成したのは大会2週間を切っていました。第13回新潟・ロシア

カ月は毎日ロシア語演習にも下手と言われ、前日まで先生に指導してきてもうれしなかったです。そして、9割のやる気と1割の自信になりました。留学のおかげで落ち着いて質年、また挑戦するつもりです。

120回も音読して臨んで優勝

テーマが決まらず、参加を諦めようか本気で悩んだ1カ月前。幾つかのテーマで原稿を書くものの、パツとせず、納得いくテーマに決まったのが締め切り前日でした。ロシア語スピーチコンテストで、気付いたら、当日までに120回も音読をしていました。本番は、練習の成果が出たかどうか、あまりの緊張で覚えてい



スピーチコンテストで大活躍

自分も中国語能力を試してみたくて、第12回「漢語橋」新潟大会(5月18日・新潟教育会館)に参加しました。私は中国語との縁について5分間程度のスピーチを行い、中国語の歌も披露しました。本番まで原稿を暗記し、練習に励みました。そして、最後まで自信を持ってやり遂げられたの

ちと触れ合えるこの大きなチャンスを生かし、語学力の向上と異文化理解を今以上に深めていきたいです。私にとって中国語は一つのパートナーだと思っています。中国語を通して何か素敵な出会いや経験ができるのであれば今後どんどん参加し、自分を高めたい。新しい道を切り開いていきたいです。

歌も披露し「優れた表現賞」に

自分の中国語能力を試してみたくて、第12回「漢語橋」新潟大会(5月18日・新潟教育会館)に参加しました。私は中国語との縁について5分間程度のスピーチを行い、中国語の歌も披露しました。本番まで原稿を暗記し、練習に励みました。そして、最後まで自信を持ってやり遂げられたの



北信越学生陸上で初優勝 110mH 記録更新狙い全国大会へ

私は、本学入学当時に目標としていた北信越学生陸上対校選手権大会(5月18日・新潟市陸上競技場)110mハードルで優勝し、9月6日から国立競技場で行われる日本学生陸上対校選手権(全国大会)の出場権を得ることができました。

私たちは陸上競技部は走力、スピード持久、筋力の3つを中心に、練習に取り組んでいます。その中で一番つらいと思う練習は、スピード持久(耐乳酸を含む)練習です。これは120〜300mを走る程度のスピードを維持しながら走る練習で、目的によって本数や内容が変わってきますが、乳酸を出した状態で意識して走らなければならぬので、走った直後は歩行困難になることがよくあります。このような練習を日々続けていたことが、優勝という結果につながったのかもしれない。

今年はまだ去年の春の自己記録14秒76を更新できないでいますが、一つひとつの課題を克服してきているので、いつか大きく記録更新することを信じて、じつりと日々精進していきたいと思っています。



情報システム学科3年 本間 竜一